

企画展示

古墳時代の大きな溝、発見！

ごうぞくきょかん だいわたり はいじあと
～豪族居館と台渡里廃寺跡～

平成20年6月に水戸市教育委員会、9月に茨城大学人文学部考古学研究室が行った台渡里遺跡での発掘調査で、古墳時代の「豪族居館」に伴うとみられる溝跡が発見されました。その最新の研究成果と併せて、遺跡を紹介する展示を行います。

- 会 期 平成21年4月24日（金）～ 5月22日（金）
会 場 茨城大学図書館 2F
入場料 無 料
主 催 茨城大学人文学部
共 催 水戸市大串貝塚ふれあい公園 / 茨城大学図書館
茨城大学五浦美術文化研究所
後 援 水戸市教育委員会
問合せ 展示内容について 田中裕（茨城大学人文学部准教授） 029-228-8113
展示会場等について 茨城大学図書館情報サービス係 029-228-8076

茨城大学図書館

- 住所 〒310-8512 水戸市文京2-1-1
- 開館時間 9:00～21:00（月～金）
9:30～17:30（土・日）
- 休館日 4/29（祝） 5/3～5/6（祝）
- 交通アクセス 公共交通機関をご利用下さい

写真：豪族居館の堀跡

水戸市台渡里遺跡では、7世紀後半に創建された「^{だいわたりはいじあと}台渡里廃寺跡」と8世紀以降に造営された^{なかぐうけ}那賀郡家の^{しょうそういんあと}正倉院跡が隣接していることが分かっており、一部が国の史跡に指定されています。平成20年6月に水戸市教育委員会が行った発掘調査では、それらに先行する古墳時代の^{ほり}堀跡が発見されました。また、同9月に茨城大学人文学部考古学研究室が行った調査により、その堀跡が「^{ごうぞく}豪族居館」の特徴を示すことが確かめられました。

「^{ごうぞくきょかん}豪族居館」と郡の正倉跡が同一地点で発見されたのは全国で初めてであり、考古学、歴史学の専門家から^{りつりょうこっか}律令国家の成立過程を理解する上の貴重な発見として注目を集めています。

今回の展示において、台渡里遺跡の出土品を展示し、最新の調査結果、研究成果をパネルでご紹介いたします。



9月遺跡現地発表会の様子 豪族居館の堀跡(左)・出土品(右)